



創立150年

わにっこり

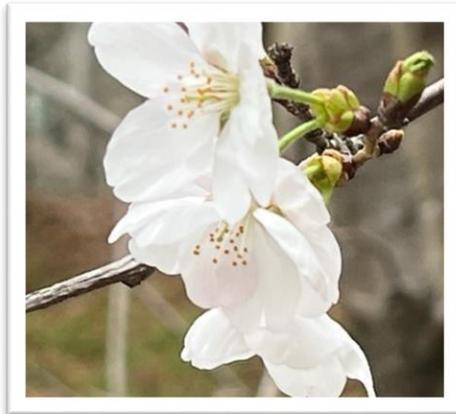
教育目標 わたしから考える子 にこにこ元気な子 つづけてがんばる子 こころを合わせる子

和邇小だより 令和5年 4月号

児童数395名 文責 澤村幸夫



入学・進級おめでとうございます



暖かなそよ風は、わくわく感とともに、次なるステージへの勇気を与えてくれます。校庭の桜は、例年になく3月28日に満開になりました。4月10日(月)には、52名の新1年生を迎えて入学式を行いました。お家の方々の、温かい愛情に包まれて入学してきた子どもたちは、とても緊張したと思います。これから広がる小学校での生活を、お兄さん、お姉さんとともに、その子らしい生活ができるよう教職員一同、努力して参りたいと思います。

新2~6年生に進級した皆さんも、新しい学年の始まりに希望をふくらませていることでしょう。不安なこともあるかもしれませんが、一步一步前進していきたいと思います。

本年度も地域の皆様に支えていただきながら、保護者の皆様と手をたずさえて進んでまいりたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

今年度の教職員です。よろしくお祈いします

- ◇校 長:***** ◇教 頭:***** ◇主幹教諭:*****
- ◇教 務:***** (生徒指導)・***** (子ども支援コーディネーター)
- ***** (教科担任・校内研究)
- ◇ 養護教諭:***** ◇ 事務職員:*****
- ◇ 非常勤講師:***** (学校司書)・***** (初任者研修後補充)
- ***** (主幹マネジメント)・***** (特支多人数アシスタント)
- ◇ 用務員:***** ・*****
- ◇学校生活支援員:*****・***** ◇ 配膳員:*****・*****
- ◇スクールサポートスタッフ:*****



学校のカクレクマノミとサンゴイソギンチャク

※WEB版のみ、個人情報に配慮しています。

学年	A組	B組	C組
お花	*****	*****	*****
1年	*****	*****	***
2年	*****	*****	***
3年	*****	*****	***
4年	*****	*****	***
5年	*****	*****	***
6年	*****	*****	*****

学校教育目標

学校では、「どんな子どもに育てほしいのか、何をめざして日々の教育活動をおこなっているか」の根本になる柱を作成しています。毎時間の教室での授業をはじめ、校外での学習など多くの活動は、この「学校教育目標」を達成するために実施するものです。

予測不能な未来を子どもたちがたくましく幸せに生きていくために、知識や技能だけではなく、思考力・判断力・表現力を身につけていきたい、さらに、課題を解決するに留まらず、自ら課題を見つけ、周囲と関わりながら協働して解決していく力を大切にしていきたいと考えています。

また学校は、地域社会とより連携を深め、相互的に協力し合い子どもたちを共育していくことが必要です。「自然・歴史・人」に恵まれる和邇地域の強みを生かして、子どもたちのより良い教育に向けて努力していきます。本校の学校教育目標には「私たちが生まれ育つ、和邇に誇りと親しみを持つ児童に育てほしい。そして思いやりの気持ちを持ち、多くの人々と関わり学び合う中で、深くつながり、心も身体も頭も健やかに成長してほしい。」そんな意味が込められています。

① 学校の教育目標

『和邇を愛し、心豊かに友とつながり、学び合う』

- 【知】 自ら考え、知恵を出し合い、ねばり強く学び合う子ども
- 【体】 生命を尊び、健康でたくましい子ども
- 【徳】 思いやりの気持ちを持ち、心を合わせる子ども
- 【地域】 生まれ育った和邇を愛し、大切にする子ども



教職員・子どもの目標として、親しみやすく「わ・に・つ・こ」の頭文字から、このような言葉で言い表しています。この4つの視点を大切に、子どもを見つめ・認め・褒める中で「和邇を愛し、心豊かに友とつながり、学び合う」子どもの育成に向けて努力していきたいと思えます。ご家庭でも共通の声かけをしていただくとありがたいと思えます。



「わたしから考える子」(知的側面)

「基礎基本を身につけ自ら考え実践する子どもを育てる」ことをめざします。自分の頭で考え、「自ら」あいさつ、「自ら」学習、思いやりや心遣いの心を行動で表すなど、「思い」で終わらず「実践」できることが大切です。

「にこにこ元気な子」(身体的側面)

「生命を尊び健康でたくましい子どもを育てる」ことをめざします。「にこにこ」と幸せに生活するためにはお互いに何をしなければならないか考え、心も体も健康でたくましく育てほしいと思えます。

「つづけてがんばる子」(情意的側面)

「進んで取り組み、ねばり強くやりとげる子どもを育てる」ことをめざします。結果だけでなく「粘り強くやり遂げる」ことを応援します。

「こころを合わせる子」(社会的側面)

「思いやりの心を持ち、協力・協働できる子どもを育てる」ことをめざします。よりよい人間関係を作っていく力は将来社会で生きていく上でとても重要な力です。多様性を受け入れ、「協力・協働」できる資質は、実際に経験し学ぶことで身につけていきます。